

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

## 第273号

平成27年9月24日発行  
病原体検出は平成27年7月分

表1 病原体検出状況(保健所等別)―平成27年7月

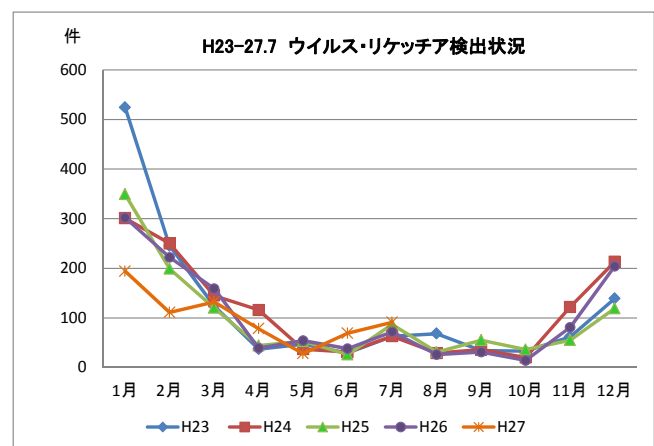
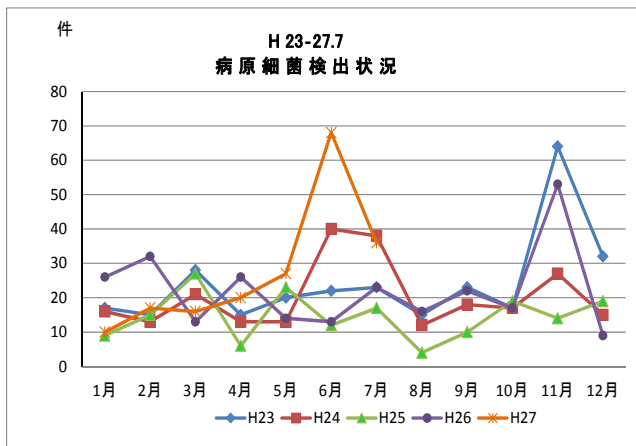
	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点				合計		
	平塚保健福祉事務所	秦野センター	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	茅ヶ崎保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	計	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)	2		1		1	1			1	3	9						9
	その他の大腸菌※												2					2
	サルモネラ 04群							1	2			3						3
	カンピロバクター ジェジュニ		1									1						1
	黄色ブドウ球菌			1						1		2						2
	A群溶血レンサ球菌												11					11
	エンテロコッカス フェシウム									4		4						4
	マイコプラズマ ニューモニエ												4					4
計	2	1	2		1	1	1	2	6	3	19	17					36	
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH3										2	2						2
	コクサッキー A5												1					1
	コクサッキー A6												21					21
	コクサッキー A9															12		12
	コクサッキー A10												1					1
	コクサッキー A14												1					1
	コクサッキー A16												12					12
	エンテロ (型未決定)																1	1
	ライノ												2			1		3
	ムンプス												1					1
	アデノ 2																1	1
	アデノ 3												8			2		10
	アデノ 4												2					2
	単純ヘルペス 1												1					1
	サイトメガロ																1	1
	ヒトヘルペス 6																1	1
	ヒトヘルペス 7																1	1
ノロ	9	2				3	5				19						19	
計	9	2				3	5		2	6	21	50			20		91	
合計	11	3	2		1	1	3	6	2	6	5	40	67		20		127	

※ : EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EAaggEC以外の大腸菌 (病原性不明なもの)

海外渡航者数は (内数) として記載

<検出状況>

○ 7月の病原体検出数は合計127件、細菌は36件、ウイルス・リケッチアは91件であった。



- 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では、細菌が19件、ウイルスが21件検出された。
- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が17件、ウイルスが50件、基幹定点からウイルスが20件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—平成 27 年 7 月

	感 染 症														（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 頼 者 検 査 ） ※ 1 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数		1		1	40	15	5	5		1			2		6	51	2029	2156
腸管出血性大腸菌(EHEC)					9													9
その他の大腸菌 ※							2											2
サルモネラ 04群																3		3
カンピロバクター ジェジュニ																1		1
黄色ブドウ球菌																2		2
A群溶血レンサ球菌						11												11
エンテロコッカス フェシウム															4			4
マイコプラズマ ニューモニエ								4										4
計					9	11	2	4							4	6		36

※： EHEC(VTEC)・EPEC・EIEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）  
海外渡航者数は（内数）として記載

- 腸管出血性大腸菌感染症患者届出関連に伴う検査で、40 検体中 8 事例 9 検体から腸管出血性大腸菌が検出された。血清型は O157 が 7 検体、O26 が 2 検体であった。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 15 検体中 11 検体から、A 群溶血レンサ球菌が分離培養によって検出された。血清型は、T1 が 5 検体、T3 が 1 検体、T4 が 1 検体および UT が 4 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 5 検体中 2 検体からその他の大腸菌（O8、OUT・EPEC）が検出された。
- マイコプラズマ肺炎患者 5 検体中 4 検体から、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ ニューモニエ）が PCR と分離培養によって検出された。
- その他の感染症は 6 検体の依頼があり、そのうちバンコマイシン耐性腸球菌感染症患者 4 検体中 4 検体からバンコマイシン耐性エンテロコッカスフェシウム遺伝子型（vanA）が検出された。
- 食中毒様事例（関連調査を含む）では 8 事例（県域 5 事例、関連調査 3 事例）、51 検体を検査したところ 3 事例 6 検体から食中毒菌が検出された。検出菌の内訳は、サルモネラ O4(S.Saintpaul) が 1 事例 3 検体、カンピロバクター ジェジュニが 1 事例 1 検体、黄色ブドウ球菌が 1 事例 2 検体であった。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成27年7月

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成26年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	平成27年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	3	2	7		4		22	1					7	9	17
毒素原性大腸菌(ETEC)		5					17								
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)	1	1			1		4					1	1		2
その他の大腸菌 ※	1		1		21	3	40	3	1		2		4	2	12
サルモネラ O4群							1					1	3	3	7
サルモネラ O7群		1			1		2			1		4	1		6
サルモネラ O8群	2						2								
サルモネラ O9群		2					2								
サルモネラ O3,10群							1								
エロモナス ハイドロフィラ													1		1
エロモナス キャビエ							1								
カンピロバクター ジェジュニ	5	1	12	13	17	2	68	1	2			1	8	1	13
カンピロバクター コリ	2						3			1	1				2
黄色ブドウ球菌							1				1		9	2	12
ウエルシュ菌							14	1					10		11
セレウス菌													1		1
赤痢菌 ( <i>S.sonnei</i> )					1(1)		1(1)								
A群溶血レンサ球菌	4	3	2	3	8	2	61	3	13	12	16	20	15	11	90
レンサ球菌 その他							1								
エンテロкокカス フェシウム														4	
肺炎球菌	1					1	3								
マイコプラズマ ニューモニエ	2	1		1			11			2			3	4	9
レジオネラ ニューモフィラ	2						7	1	1				5		7
その他の細菌						1	2								
合計	23	16	22	17	53(1)	9	264(1)	10	17	16	20	27	68	36	194

※:その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EAggEC以外の大腸菌 (病原性不明なもの)  
海外渡航者数は(内数)として記載



表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)—平成 27 年 7 月

	感 染 症																食 中 毒 情 況 含 む 様 子	合 計
	ウ エ ス ト ナ イ ル 熱	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	急 性 脳 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	風 し ん	ヘル パン ギー ナ	麻 し ん	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ 様	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎		
検査検体数						12	2	49		4	3	2	2	8	36		73	191
インフルエンザ AH3													2					2
コクサッキー A5								1										1
コクサッキー A6								21										21
コクサッキー A9															12			12
コクサッキー A10										1								1
コクサッキー A14								1										1
コクサッキー A16								11		1								12
エンテロ (型未決定)															1			1
ライノ								2							1			3
ムンプス												1						1
アデノ 2															1			1
アデノ 3							8								2			10
アデノ 4							2											2
単純ヘルペス 1							1											1
サイトメガロ															1			1
ヒトヘルペス 6															1			1
ヒトヘルペス 7															1			1
ノロ																		19
計						11		36		2		1	2		20		19	91

海外渡航者数は(内数)として記載

- 咽頭結膜熱患者 12 例中 11 例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス 3 型が 8 例、アデノウイルス 4 型が 2 例、単純ヘルペスウイルス 1 型が 1 例であった。
- 手足口病患者 49 例中 36 例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルス A5 型が 1 例、コクサッキーウイルス A6 型が 21 例、コクサッキーウイルス A14 型が 1 例、コクサッキーウイルス A16 型が 11 例、ライノウイルスが 2 例であった。
- ヘルパンギーナ患者 4 例中 2 例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルス A10 型が 1 例、コクサッキーウイルス A16 型が 1 例であった。
- 流行性耳下腺炎患者 2 例中 1 例からムンプスウイルスが検出された。
- 高齢者施設におけるインフルエンザ集団発生に伴う入院患者 2 例からインフルエンザウイルス AH3 型が検出された。
- 無菌性髄膜炎患者 14 例 (36 検体) 中 10 例 (18 検体) からウイルスが検出された。その内訳は、1 例目は咽頭拭い液からアデノウイルス 2 型とライノウイルス、便からコクサッキーウイルス A9 型が、2 例目は髄液と咽頭拭い液からコクサッキーウイルス A9 型が、3 例目は咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス 7 が、4 例目は咽頭拭い液からサイトメガロウイルスとヒトヘルペスウイルス 6 が、5 例目は髄液と咽頭拭い液からコクサッキーウイルス A9 型が、6 例目は咽頭拭い液と便からコクサッキーウイルス A9 型が、7 例目は髄液と咽頭拭い液と便からコクサッキーウイルス A9 型が、8 例目は咽頭拭い液と便からコクサッキーウイルス A9 型が、9 例目は咽頭拭い液と便からアデノウイルス 3 型が、10 例目は髄液からエンテロウイルス (型未決定) であった。
- 食中毒様胃腸炎の発生は 9 事例 (県域 5 事例、関連調査 4 事例) で、便 73 検体について検査を実施したところ、2 事例 19 検体からノロウイルスが検出された。

表 5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成27年 7 月

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成26年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	平27累	成年計
インフルエンザ AH1pdm09			4				205	1	4	1						6
インフルエンザ AH3	1	1	5	3	27	136	227	128	45	12	2	1	1	2		191
インフルエンザ B							241	8	15	11	19	2				55
R S				3	2	3	8									
コクサッキー A2							1									
コクサッキー A4	28	5	3				37					1				1
コクサッキー A5	1	1	1				3							1		1
コクサッキー A6	3						3						2	21		23
コクサッキー A8					1		1									
コクサッキー A9										2	4	3		12		21
コクサッキー A10			2	2	2		7						1	1		2
コクサッキー A14													1	1		2
コクサッキー A16			5	1	1	2	9			1	5	3	13	12		34
コクサッキー B4				2			2									
エコー 16			1				1						2			2
エコー 30			1				1									
エンテロ 71							1									
エンテロ (型未決定)														1		1
A型肝炎							2									
パレコ 1	1						1									
パレコ 3	5	6	1	1			14									
ライノ	3					1	5			1	1	1	1	3		7
ムンプス	2	2	1				11	1						1		2
麻疹	19	5			2		40		3	3	3		2			11
風疹							2									
アデノ 1	2					2	12		3				2			5
アデノ 2					1		8		1	3	4	4	1	1		14
アデノ 3	3	2	1	1	1	8	23		1		4	6	10	10		31
アデノ 4							2						2	2		4
アデノ 5							1									
アデノ 6							1									
アデノ 19	1						1									
アデノ 37	1						1				1	1				2
アデノ(型未決定)			3			1	7			1						1
単純ヘルペス 1													2	1		3
サイトメガロ			1				1							1		1
E B							1				1					1
ヒトヘルペス 6											2		1	1		4
ヒトヘルペス 7														1		1
バルボ B19											1					1
ロ タ	1						2									
ノ ロ		4			40	45	323	54	37	96	30	3	17	19		256
サ ポ	1				2	5	18	2	1	1			6			10
アストロ				1			14		1		2		2			5
デング			2			1	3			2	1	2	(2)		5	(2)
オリエチア ツツガムシ					2		2									
合計	72	26	31	14	81	204	1242	194	111	132	78	28(2)	69	91	703	(2)

海外渡航者数は(内数)として記載





表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 27 年 7 月

(神奈川県衛生研究所検出)

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	7月			7月累計			7月			7月累計				
	食中毒等	取去検査	その他	食中毒等	取去検査	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	18	99		35	323		26		32	8	55	14	89	8
カンピロバクター・ジェジュニ				1										
カンピロバクター・コリ														
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌				1										
セレウス菌	2			2										
レジオネラ属菌														
レジオネラ・ニューモフィラ1群												2		
レジオネラ・ニューモフィラ2群														
レジオネラ・ニューモフィラ3群														
レジオネラ・ニューモフィラ4群														
レジオネラ・ニューモフィラ5群														
レジオネラ・ニューモフィラ6群														
レジオネラ・ニューモフィラ7群														
レジオネラ・ニューモフィラ8群														
レジオネラ・ニューモフィラ9群														
レジオネラ・ニューモフィラ10群														
レジオネラ・ニューモフィラ11群														
レジオネラ・ニューモフィラ12群														
レジオネラ・ニューモフィラ13群													2	
計	2			4								4		

※：河川水を含む。

○食品検査では、食中毒 1 事例 2 検体からセレウス菌が検出された。